

知的財産

技術本部長
メッセージ

「オンリーワン技術」で拓く未来



取締役
常務執行役員
技術本部長
勝嶋 肇

三社電機グループでは「Global Power Solution Partner」というビジョン【P14】のもと、パートナーであるお客様やすべてのステークホルダー【P32】の営みを技術力で支え、自然環境の保全と社会活動の持続的な前進を実現することを企業活動の「志」としています。また、これらを支える技術は、当社グループ独自の「オンリーワン技術」であることを重視しています。

知的財産とは、この「オンリーワン技術」を指し、知財戦略によってそれを守ることにより、お客様の大切な財産を保護し、社会の目標達成にも貢献するという考え方に立っています。

知的財産を経営資源の一つと位置づけ、お客様の課題解決に資する商品開発ロードマップや、中長期の技術ロードマップに沿った研究開発を推進しています。また、これらの開発は年次計画にも適切に組み込まれ、目標が設定されています。

こうした戦略的な取り組みによって、企業価値やブランドの維持・向上が図られると考えています。

こうした戦略的な取り組みによって、企業価値やブランドの維持・向上が図られると考えています。

知的財産活動

当社グループは、知的財産への理解促進に始まり、研究開発や技術分析で得られた成果を積極的に知的財産権として取得・保護・活用することで、事業の競争力強化を目指しています。具体的な取り組みは以下のとおりです。

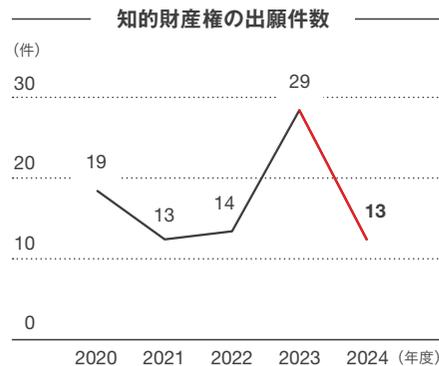
- 特に成長分野における積極的な知的財産権の獲得を目指し、先行技術の調査および人材・体制の強化
- 発明委員会を開催し、効率的な知財運用や最適な特許ポートフォリオの構築、リスク分析に基づくグローバルな出願計画の策定
- 技術者による定期的な特許ミーティングを通じた知財活動の活性化
- 若手技術者に対する入社後数年間の教育・訓練の実施により、知財活動の継続と定着を推進
- 他者権利を侵害しないよう、研究開発の初期段階から適切な技術調査を行える体制づくり

職務発明報奨制度と知財戦略の強化

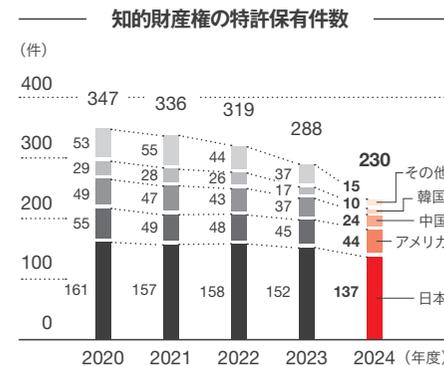
当社グループは、技術者による発明を奨励し、その保護および活用を通じて企業の発展と個人の技術力向上を図るため、職務発明報奨制度を設けています。近年、当社の特許保有件数は減少傾向にありますが、これは法定の存続期間を経て満了日が近づいた特許を中心に整理を進めたことに起因しています。経営資源を効率的に配分する観点から、ポートフォリオの見直しを実施し、影響力の弱い特許や意匠は積極的に権利放棄し、強いコアな特許に絞った計画的な出願、権利維持を進めています。

特許出願件数が減少している要因の一つには、一品カスタム受注の増加に伴い、基本技術の開発の進捗が影響を受けていることがあります。このような背景を踏まえ、当社は体制強化を図るため、若手技術者への知財教育をはじめ、技術の巻き返しに取り組んでいます。

今後は、出願から権利化、さらには事業活用までを一体で捉えた知財マネジメントの高度化を目指し、技術の進化に伴い価値ある知的財産の創出と蓄積を一層推進していきます。



対象：三社電機製作所



対象：三社電機製作所

